

第4回滋賀県首長会議テーマ一覧

提案 団体	整理番号、テーマ名およびテーマの趣旨（概要）
① 子育て支援の拡充について	
長浜市	<p>少子化対策は、国の存亡に関わる重大かつ喫緊の課題であり、社会全体がその責務として、多子世帯支援も含めた強力な対策を早急に講じることが重要である。</p> <p>当市では、来年度より、幼稚園・保育所保育料ともにこれまでの年齢条件を撤廃し、所得に関係なく、すべての第2子児童を半額、第3子以降を無償化するなどの多子世帯の経済的負担軽減に取り組むこととしているが、地域が連携して深刻な少子化に歯止めをかけるため、子育て支援の充実に向けた取組について議論したい。</p>
② 滋賀のスポーツ推進と社会体育施設の整備について	
野洲市	<p style="text-align: center;">県内市町におけるスポーツ関係施設の整備状況について</p> <p>滋賀県では既に人口減少局面に入ったとはいえ、戦後から1970年代まで約80万人で安定していた人口が、80年代以降の約30年間の急激な右肩上がりの増加により140万人を超えるに至っています。</p> <p>このため少子高齢化・人口減少といった全国共通の課題に対応する子育て支援、介護、生活困窮者自立支援などの施策に加え、道路・交通、治水などの基本的なインフラ、特に公共スポーツ施設の整備が人口規模に比して遅れており、体育館をはじめ、プール、陸上競技場、テニスコートなど、全国大会の競技スペックに合致した施設が県内に整備できていない状況となっています。</p> <p>平成36年開催予定の国民体育大会に対応した公共スポーツ施設の整備はもとより、県内の競技水準の向上を図るためにも、速やかに計画的な施設整備を行うべきと考えます。</p> <p>県と市町が意見交換と情報共有を行うとともに、県全体でのスポーツ施設のあり方を踏まえた今後の整備について、県の方向性と見解を伺いたい。</p>
滋賀県	<p style="text-align: center;">滋賀のスポーツ推進について</p> <p>平成36年(2024年)に開催される第79回国民体育大会・第24回全国障害者スポーツ大会に向けた10年間を、滋賀県では「文化とスポーツの10年」と位置づけ、様々な施策を戦略的に取り組むこととしている。</p> <p>こうした中、平成27年12月には「滋賀県スポーツ推進条例」が施行され、平成28年4月からは、知事部局において、スポーツ推進行政を一元的に所管する組織を設置するなど、県として施策推進に向けた体制の強化を図っているところである。</p> <p>このような状況のもと、国体・全国障害者スポーツ大会に向けた準備の進捗をはじめ、現在県が進めているスポーツ推進施策の方向性を市町長の皆さんと共有し、スポーツの力で滋賀の各地域を元気にする方策について議論を行いたい。</p> <p>【主な項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 滋賀県スポーツ推進条例の制定について ・ 組織の一元化について ・ 第79回国民体育大会 競技会場地選定状況について ・ 2020年東京オリンピック・パラリンピックおよびラグビーワールドカップ2019に向けた滋賀県のスポーツ交流創出について ・ 県立社会体育施設の今後の方向性について

提案 団体	整理番号、テーマ名およびテーマの趣旨（概要）
③ 道路交通ネットワークについて	
甲賀市	<p>本県の交通は、国土幹線交通路の要衝として、地形、気候や立地、災害も比較的少ない県土である。このことから内陸型工業団地の立地も進み発展してきている。しかしながら、アクセス道路整備が十分でない中で、交通量の増加による一般道路への大型車の混入率が高く、慢性的な混雑や生活環境に負の影響が大きくなっている。</p> <p>人口減少や地域創生が進む中で、各自治体が生き残りをかけて、行政の体力をつけるよう地域活性化をはじめ、魅力あるまちづくりを目指して諸政策に取り組んでいる。これらの骨格となるのは、道路交通網の整備推進であると考えている。</p> <p>特に地域発展に重要な幹線道路については、将来を見据え、防災・減災対策として国土グランドデザイン2015や国土強靱化計画に寄与する信頼性の高い幹線道路の整備が求められる。他府県にも負けない今後の道路整備の促進について考え方を示されたい。</p>